

1 ベクトル積 (外積)

ここでは空間ベクトル (実数成分の 3 項横ベクトル) 全体を \mathbb{R}^3 と書くことにする. また, 基本ベクトル i, j, k を

$$i = (1, 0, 0), \quad j = (0, 1, 0), \quad k = (0, 0, 1)$$

により定める.

$a = (a_1, a_2, a_3), b = (b_1, b_2, b_3) \in \mathbb{R}^3$ を 2 つの空間ベクトルとするととき, a, b の ベクトル積 (または 外積) $a \times b$ を

$$\begin{aligned} a \times b &= (a_2 b_3 - a_3 b_2, a_3 b_1 - a_1 b_3, a_1 b_2 - a_2 b_1) \\ &= \begin{vmatrix} a_2 & b_2 \\ a_3 & b_3 \end{vmatrix} i - \begin{vmatrix} a_1 & b_1 \\ a_3 & b_3 \end{vmatrix} j + \begin{vmatrix} a_1 & b_1 \\ a_2 & b_2 \end{vmatrix} k \end{aligned}$$

により定める. 便宜的に行列式の記号を使って

$$a \times b = \begin{vmatrix} a_1 & b_1 & i \\ a_2 & b_2 & j \\ a_3 & b_3 & k \end{vmatrix}$$

と覚えておくと便利である.

演習 1.1 次のことを確かめよ.

- (1) $i \times j = k, \quad j \times k = i, \quad k \times i = j.$
- (2) $a \times b = -b \times a.$
- (3) $(a + b) \times c = a \times c + b \times c, \quad a \times (b + c) = a \times b + a \times c.$
- (4) 任意の実数 r に対し, $(ra) \times b = a \times (rb) = r(a \times b).$

演習 1.2 逆に, 上記の (1)–(4) の性質を満たす演算 $\mathbb{R}^3 \times \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}^3$ は上で定義したベクトル積以外にはありえないことを示せ.

演習 1.3 幾何学的には, ベクトル積は次の (i)(ii) を満たすベクトルとして定まることを確かめよ.

(i) $a \times b$ の大きさは, a, b の張る平行四辺形の面積に等しい. ただし, 面積が 0 の場合 (a, b が平行, または, a, b のどちらかが 0 の場合) は, $a \times b = 0.$

(ii) $a \times b$ の向きは, a, b 両方に直交し, さらに, $a, b, a \times b$ がこの順序で右手系をなすような向きである.

[ヒント] (やり方 1) 教科書第 2 章 6 節を参照. (やり方 2) a, b に対して (i)(ii) を満たすベクトルを与える演算が (1)–(4) を満たすことを確かめる.

演習 1.4 ベクトル x, y の内積を (x, y) と書くことにする.

(1) 次を示せ:

$$(a \times b, c) = \det(a, b, c).$$

(2) a, b, c が線形独立であるとする. a, b, c がこの順序で右手系をなすなら $\det(a, b, c) > 0$, 左手系をなすなら $\det(a, b, c) < 0$ となることを示せ.

(3) 行列式の絶対値 $|\det(a, b, c)|$ が a, b, c の張る平行六面体の体積と一致することを示せ.